

## 英語スピーチ 高校生ら競う

筑波学院大

英語によるコミュニケーション能力の向上とグローバル人材の育成を狙いに、筑波学院大学（大島慎子学長）は10月27日、「第6回 KVA CUP 英語スピーチコンテスト」（茨城新聞社など後援）を、つくば市吾妻の同大で開いた。

大学生・社会人の部では斎藤兼司さん（神奈川県）が優勝。高校生の部では県立竹園高2年の稲葉有紗さんが優勝した。

コンテストには小中高校生から帰国子女、大学生・



社会人などの各部に県内外から38人が出場し、スピーチの内容、表現力などを競った。小学生―高校生の部

筑波学院大学の英語スピーチコンテストの入賞者ら＝つくば市吾妻

では事前に音声データによる予選が行われた。

英語ができるようになりたいと竹園高に入学した稲葉さん。現在同校の英語デイベート部のキャプテンを務め、ロシア語も堪能という。「世界のどこに行っても誰とでも会話が成立する英語ってすごいと思う」と英語の魅力を話す稲葉さん。夢は観光業での通訳者といい、「日本語、ロシア語に英語をプラスアルファしてワンランク上の通訳者を目指したい」と喜んだ。